



# ももだより



H23.3 中沢幼稚園 PTA

園長先生より

造形展の振替休日明けの火曜日。あいにくの雨でしたが、登園する子ども達の顔はみな輝いていました。そして普段口数の少ない子でさえもおしゃべりが止まらなかったんですよ！家で大いに認めてもらった様子が手に取るようにわかりました。

造形展では大勢の方々に来ていただき、本当にありがとうございました。お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、親戚の人からお友達、もう幼稚園を卒園した子からこれから入る子まで。殆んどの方が他のクラス、学年、混じりあい、と幼稚園中の展示をまわって下さいました。

「おかしのにへようこそ」はなぐみさんはまだ自分の作品に愛着はありません。先生と色々作りましたが、一番のお気に入りには王子様、お姫様になる冠のようです。冠ができた日はそれはもう誇らしげに見せていました。はなぐみさんは自分よりも、年上のお兄ちゃん、お姉ちゃんがすることに興味津々です。ひばりぐみさんに出張コンサート（コンサートグリラ!?）してもらったり、つばめぐみさんに遊びにでかけたり、混じりあい保育で一緒に作ったりするのが楽しくてたまらないのです。

どうぶつぐみさんーはなぐみさんと違ってもうこだわりのむんむん伝わってくる作品ばかりです。

「どこでも郵便局」らいおん郵便局は開設したばかり。造形展でお客さんに書いてもらった沢山の葉書は火曜日にらいおん郵便局員が配達をしてまわっていました。当分の間郵便局は忙しそうです。

「動物園に出掛けよう！」ぞうぐみさんは浜辺（楽しい一日でした!）にでかけて集めた流木や貝殻で好きな動物をつくりました。どうしてこんな組み合わせを思いつくのかな??? 子どもの感性ってすごいつつ!と降参です。

ことりぐみさんはやはりことりぐみならではの活動となりました。意見を出し合ったり調整しながら協同することができるようになってきます。

「おもちゃの世界」つばめぐみさんの双六、子どもたちだけで作りましたから、既製品のこぎれいさとは程遠いものですが、近づいてよく観ると、子どもならではのユーモアと工夫に溢れています。どのおもちゃも手にとってじっくりと味わっていただきたいものばかりでした。

「ひばりオンステージ」幼稚園でのライブは初めて。本当に初演。自分でデザインして作った楽器や衣装の数々で音楽会の歌を歌いました。やればできる、そんな手ごたえを子ども達は持ったのではないのでしょうか。

造形展の招待状にも書きましたが、造形活動を通じて育てたい力は“やった!”という子ども自身への信頼感、自信です。それはひとりで達成されるのではなくて先生、異年齢の子どもたち、友達、の園生活を共にする人々に囲まれているからこそなのです。